

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	2 農業総務費	17,071千円	16,729千円
担当課決算額				17,071千円	16,729千円

○人件費 8,389千円
一般職1名

○一般事務 1,456千円
出上共同出荷所の火災保険料や、屋根修繕工事を行い、施設の適正な管理を行いました。
火災保険料 60千円
出上共同出荷所屋根修繕工事 1,186千円
出上共同出荷所屋根修繕工事管理委託料 162千円
山村振興協議会負担金ほか 48千円

○農業研修施設・広場管理 4,411千円
農業研修施設、農村公園などの施設について、修繕等の維持管理を行いました。
八橋農村公園 486千円 逢束農村公園 111千円 白鳳館 1,090千円
水辺公園 1,312千円 大父木地親水公園 912千円
公用車4台の管理費等ほか 402千円
火災保険料(12施設分) 98千円
「成果」 町有施設の管理を行い、町民に快適に利用してもらえる環境を保ちました。

○各種農林融資資金利子補給事業 2,475千円
次の資金を借りた農業者に利子補給支援を行い、負担軽減を図りました。

資金名	件数	利子補給額
平成26年産米価格低下緊急対策資金	3件	10千円
農業経営基盤強化資金	25件	2,465千円

「成果」 資金利子を助成することにより、借入農家の経営安定に寄与しました。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	3 農業振興費	162,479千円	155,000千円
担当課決算額				162,479千円	155,000千円

○人件費 23,601千円
一般職 4名

○農業振興対策事業 29,678千円
・がんばる農家プラン事業補助金 24,626千円
意欲ある農業者が作成する生産、流通等に関するプランの実現に必要な支援を行いました。

プラン名	補助金額
芝宮農規模拡大プラン	2,400,000円
農業がオモシロイ産業だと知って若者がUターンしたくなるプラン	6,000,000円
やればできる！親子三代で繋ぐ笑顔農業	6,000,000円
「琴浦北栄飼料稲コントラ同盟の拡大戦略」～飼料稲で地域を守る～	7,050,000円
「杉山米」ブランドの確立と安定供給を目指して	3,175,926円
計	24,625,926円

「成果」 琴浦町農業の担い手に対する支援ができました。

「課題」 引き続きプラン作成時・事業実施に伴う支援を行います。

- ・園芸産地活力増進事業補助金 617千円
遊休農地の解消、中山間地の特産物等の育成に係る支援を行いました。
ぼろたん苗木助成 360,870円 19戸 ぼろたん:280本 美玖里(交配木):65本
桑苗木等助成 255,876円 1戸 桑苗木:1,000本 茶刈機:1台
「成果」 遊休農地の解消、特産物育成に対する支援ができました。
「課題」 引き続き遊休農地の解消、特産物育成に向けた支援を行います。
- ・農業用廃プラスチック等適正処理促進事業 178千円
農業用廃プラスチック等の町内の山林及び原野等への不法投棄防止と環境保全を図るため、農業廃棄物の処理経費を助成しました。
JA鳥取中央 77,985円 琴浦町酪農組合 100,000円
「成果」 農業廃棄物の不法投棄を防ぎました。
- ・集落営農体制強化支援事業補助金 1,283千円
集落営農の継続性を確保し、将来に向けて集落農地を維持できる体制づくりを進めるために必要な機械整備の支援を行いました。
「成果」 事業実施主体に対し、乾燥機、フレールモアの整備を支援しました。
「課題」 事業実施主体が、作成されたビジョンに基づいた取組を行っていただくよう支援と確認が必要となります。
- ・環境保全型農業直接支援対策交付金 2,975千円
有機農業に取り組む農業者、団体に対して助成を行いました。
「成果」 有機農業の取組に対する支援ができました。
「課題」 生産管理など農業者の負担となりうる面もありますが、制度の周知を行い取組面積の拡大を図っていくことが必要となります。
- 担い手育成対策事業 1,080千円
 - ・認定農業者協議会活動補助金 200千円
町農業担い手の組織である認定農業者協議会による会員相互の資質の向上・研鑽のための研修事業に対して支援を行い、地域農業リーダーの育成を図りました。
認定農業者協議会会員 175名 (内法人 15法人)
 - ・県外研修・県内研修 各1回
 - ・農業研修、講演会 3回
 - ・女性部による軽トラ市・実演販売等を実施 3回
 - ・総会、役員会、各部門別研鑽懇談会を実施
 「成果」 会員研修等活発に活動がおこなえたほか、大山・北栄・湯梨浜(新規)との4町交流会が5回目の実施となり、会員の交流を深めることができました。
「課題」 新規会員を増やしていく必要があります。
 - ・人・農地プラン作成事業 18千円
今後地域の農業を担っていく農業者や新規就農者、法人、集落営農組織等を人・農地プランに掲載することで、青年就農給付金、利子補給などの支援が受けられるようになりました。
「成果」 新たに青年就農給付金の対象となった農業者が追加されたプランを作成しました。
「課題」 集落ごとに、地域農業の担い手や農地の活用方法を定めたプランの作成を推進する必要があります。
 - ・指導農業士支援事業 28千円
鳥取県知事の委嘱した東伯地区農業士会の年会費(指導農業士4名)を負担しました。
 - ・人・農地問題解決加速化支援事業 800千円
大規模な家族経営、集落営農組織の法人化の取組を推進し、新たに法人1組織、生産組合2組織が設立されました。
「成果」 新たな農業経営法人の設立により、集積した農地を次世代の経営に継承していく、取組みができました。
「課題」 法人数の増加に取り組むと同時に、設立された法人への支援も今後は必要となります。

○野菜振興対策事業 6,066千円

・特定野菜等供給産地育成価格差補給事業負担金 2,094千円
ブロッコリーやねぎ、スイートコーンをはじめとした琴浦町産の野菜の価格が下落した際に行う価格保証に対する資金の負担を行いました。

「成果」 野菜の価格変動に備える仕組みができ、農業者の所得安定につながっています。

・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 3,972千円
ミニトマトの生産農家を支援するため、県が開発した低コストハウスの建設費を助成しました。

「成果」 琴浦町内で低コストハウス4棟の建設を支援し、ミニトマトの生産拡大に貢献しました。

○がんばる地域プラン事業 7,401千円

琴浦町の農業振興を核とした地域活性化プランの実現に必要な支援を行いました。

主な事業

事業内容	補助金額	備考
ブロッコリー全自動移植機	5,076,500円	作付け面積拡大のため、移植機11台導入
物産フェア開催事業	1,332,968円	イオン日吉津や守口門真において農作物をPR
都市農村交流事業	487,057円	守口門真商工会議所と生産者との交流会を開催
後継者育成支援事業	502,000円	農業後継者の婚活イベントの実施
プラン検証事業	1,940円	地域プランの点検、変更

「成果」 地域プラン年次計画に沿って事業を実施し、作付面積拡大、労力軽減などを図るとともに、物産フェア等により琴浦町のPR・販売促進を進めました。

「課題」 平成27年度に2回目のプラン変更を行いました。新たな目標達成に向け、継続した事業実施が必要です。

○有害鳥獣対策事業 5,468千円

イノシシ、ヌートリア、カラス等の有害鳥獣から農作物の被害を守るため、電気柵の設置や、捕獲奨励金の交付、有害鳥獣の捕獲委託に要する経費の補助を行いました。

・イノシシ等有害鳥獣捕獲奨励金事業 3,128千円

イノシシなどの有害鳥獣の捕獲に対し、奨励金を交付しました。

イノシシ 172頭(15千円/頭)、ヌートリア 70頭(3千円/頭)、シカ猟期外 18頭(15千円/頭)
シカ猟期 9頭(7.5千円/頭)

・有害鳥獣捕獲業務委託業務補助金 400千円

農協が猟友会に有害鳥獣の捕獲委託する経費の一部を助成しました。

事業実施主体 鳥取中央農業協同組合

委託先 鳥取県猟友会八橋支部 東伯分会・赤碕分会

・電気柵等設置補助金 1,920千円

農作物の被害を防止するため、ほ場に電気柵を設置するのに要した経費の一部を助成しました。

事業主体 認定農業者8名、任意団体4団体

・射撃環境改善事業補助金 7千円

猟友会の会員が射撃訓練を行う際に必要となる弾代などの経費を助成しました。

「成果」 継続して取り組むことで、捕獲数が増えている。

「課題」 イノシシについては電気柵の未整備地区に被害が移行するので継続して対策をする必要がある。

○地産地消推進事業 358千円

・中部発！食のみやこフェスティバル負担金 358千円

6月27日(土)、28日(日)に倉吉未来中心大御堂廃寺跡で開催され、約23,000人の来場者がありました。



「成果」 町の特産品がPRできました。

中部発！食のみやこフェスティバルの様子

○琴浦町農林水産業活性化研究会 12千円

農林水産業の活性化・再生化を推進するため、鳥取大学と連携し、課題解決と将来のあるべき構想を構築し、地域活力創造の推進を図りました。

・研究会総会 1回

「成果」 重要な課題について、関係機関で協議ができました。

「課題」 今後開催するにあたり、研究会の体制などの検討が必要です。

○果樹振興対策事業 10,006千円

・鳥取梨生産振興事業費補助金 8,118千円

梨産業活性化のため、ブランド化を目的とした鳥取県育成オリジナル新品種の早期導入と、それに伴う生産基盤の整備を図りました。

JA ・生産基盤対策(改植支援、網かけ整備、灌水施設整備)

新植・改植 120本 網かけ施設 78.13a 灌水施設 9.72a

・育成促進対策(5年間の育成費支援9.72a)

生産部 ・生産基盤対策(改植支援)

新植・改植 1,298本

・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 228千円 灌水施設整備 9.87a

「成果」 新品種への切り替え支援を行い、経営の安定化を図りました。

「課題」 琴浦はいち早く新品種への切り替えに取り組んでいるが、鳥取県の果樹振興計画割にまだ達していないため、さらなる推進が必要です。

・果樹経営安定化対策事業補助金 1,455千円

罹災時の経営安定化と産地維持を図るため、果樹共済への加入を促進する目的で共済掛け金の負担軽減を行いました。

JA鳥取中央(琴浦町)	梨	171戸	1,427,712 円
	ぶどう	6戸	26,838 円
	合計	177戸	1,454,550 円

「成果」 梨農家数の全体は減少する中、共済掛金補助対象農家は維持しています。

・ぼろたん祭支援事業補助金 192千円

新品種の栗「ぼろたん」を多くの人に知っていただき、ぼろたんの消費拡大を目的に、アプトにてぼろたん祭を開催しました。(H26～28年度事業)

・H27年9月20日(日)10時～アプトにて開催

「成果」 ぼろたんを多くの人に知っていただけた。

「課題」 消費拡大に向けて今後の取り組みについて検討が必要です。

○耕作放棄地再生推進事業 1,089千円

耕作放棄地の解消に向けて、再生事業に補助金を交付しました。

再生事業実施箇所 町内9箇所 面積 2.46ha

「成果」 耕作放棄地の再生事業を実施し、耕作農地に返しました。

「課題」 耕作放棄地の解消のため、再生事業の推進が必要です。



○経営所得安定対策推進事業 4,101千円

経営所得安定対策の制度の推進、補助金事務等を行いました。

「成果」 補助金申請の受付などを行い、意欲ある農業者を支援しました。

「課題」 米の直接支払交付金は29年産までとなるため、水田農業の新たな施策への取り組みが必要となります。

○農業後継者育成対策事業 27,019千円

・就農条件整備事業 1,196千円

新規就農者へ機械購入経費等を助成し、経営の安定を支援しました。

平成27年度事業実施者 1名

トラクター、管理機、動噴、運搬車導入

「成果」 認定就農者の就農初期の負担軽減を図ることができました。

「課題」 新規就農者を増やす取り組みが必要です。



・青年就農給付金 13,500千円

新規就農の定着、早期経営安定を図るために給付金を交付(国事業)。

平成27年度交付対象者 9名

・就農応援交付金 300千円

給付金対象外の新規就農の定着、早期経営安定を図るために給付金を交付(県事業)。

平成27年度交付対象者 1名

・親元就農促進支援交付金 11,100千円

農業後継者の育成、定着を図るために親元での研修に対して交付金を交付(県事業)。

平成27年度交付対象者 11名

・農業後継者育成対策結婚祝報奨金 100千円

定住促進を図るため、結婚した新規就農者に対して報奨金を交付(町事業)。

平成27年度交付対象者数 1名

「成果」 新規就農者等への支援を行うことができました。

「課題」 平成27年で事業廃止。

・農業青年会議活動助成事業補助金 90千円

農業青年会議の活動経費の助成を行い、農業に対する理解を深めるとともに、農業青年同士の交流を図りました。

主な活動内容: 定例会、畑作研修(飼料用としてWCSの栽培、ひまわり栽培)、
地方創生イベントの開催、食のみやこフェスティバル等への参加

「成果」 琴浦町の今後の農業を担う若者たちの支援ができました。

「課題」 活動をPRするためのの取り組みが更に必要です。


○農地中間管理事業 39,126千円

農地中間管理機構に町内の農用地の貸付を行うとともに、農地の貸し手と借り手のマッチング等の事務を行いました。

賃貸借された農地数:158筆、24.3ha

「成果」 農地の効果的な利用により、農業経営の生産コストの削減につなげるなど農業の担い手に対する支援を行いました。

「課題」 条件が悪く借り手のない農地や未相続の農地に関する手続きなどについての支援を行っていくための体制づくりが必要となります。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	4 畜産業費	111,036千円	31,375千円
担当課決算額				111,036千円	31,375千円
				繰越明許費	
○人件費 3,650千円 一般職 1名				77,897千円	
○畜産振興対策事業 27,551千円					
<ul style="list-style-type: none"> ・品評会出品奨励事業 195千円(和牛18頭、乳牛48頭) 中部・県共進会等の出品経費を助成することにより、出品者の負担軽減を図りました。 ・優良種牝審査委員会報償費(和牛・乳牛) 14千円(7名) 奨励金対象牛の選定および過去奨励金対象牛の巡回審査等にかかる報償金。 ・優良種牝牛飼育奨励事業補助金交付牛(10頭×100千円) 1,000千円 優良な種牝牛の造成のため、優良種牝牛(和牛)導入者に対し、審査委員会の選定により奨励金を交付し、畜牛の改良および町内保留を推進しました。 ・鳥取県畜産推進機構負担金 87千円 ・優良乳用牛精液利用促進事業 900千円(2,000円×450頭) 精液導入に関する費用を一部助成することで、生産者の負担を軽減するとともに、町内乳用牛の改良促進を図りました。 ・畜産環境衛生対策事業 120千円 家畜排泄物の悪臭防除・害虫防除等のため、畜舎環境の衛生化に伴う経費(消石灰購入等)を一部助成し、畜舎環境の美化・改良を図りました。 ・肉用牛肥育経営安定対策事業 2,920千円 (肉専用種2,400円×1,169頭、乳用種1,000円×115頭) 肉用牛価格が低下した際の生産者の積立金造成に伴う負担の軽減を図りました。 ・肉豚経営安定対策事業 396千円(肉豚105円×3,766円) 肉用豚価格が低下した際の生産者の積立金造成に伴う負担の軽減を図りました。 ・次世代につなぐ酪農支援事業 14,300千円(3件) 担い手(酪農)の増頭のための、牛舎整備や機械導入に対する費用を一部助成することで担い手の負担軽減を図りました。 ・全日本ホルスタイン共進会対策事業 400千円 北海道で開催された全日本ホルスタイン共進会に参加する出品牛を一部助成することで、共進会参加農家の負担軽減を図りました。 ・町内種牝牛肥育事業 500千円(100千円×5頭) 高騰傾向にある肥育素牛の導入経費を一部助成し、優良牛の町内保留および農家の負担軽減を図りました。 ・鳥取和牛振興総合対策事業 6,719千円(12頭) 和牛繁殖経営へ新規参入や担い手の増頭にかかる繁殖牛の導入に対する助成を行いました 「成果」 各種事業を実施し、農家の負担軽減を図りました。 「課題」 和牛については平成29年度開催の全共対策、乳牛については減少傾向にある乳量確保のための取組みが必要です。 					
○家畜伝染病対策事業 175千円					
<p>口蹄疫等の家畜伝染病発生を予防するため、家畜飼養者に薬材を配布しました。 また、継続して町内公共施設に家畜伝染病発生予防のための踏込消毒槽を設置し、予防に努めました。</p> <p>「成果」 家畜伝染病発生の予防に努めました。防疫体制の意識が高まりました。 「課題」 さらなる発生予防の徹底に向け、踏込消毒槽の管理が必要です。</p>					

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決算額
		目	5 農地費	350,525千円	334,097千円
担当課決算額				350,525千円	334,097千円
					繰越明許費
○人件費 17,917千円					13,600千円
一般職 4名					
○中山間地域等直接支払推進事業 47,138 千円					
中山間地域の農地を保全するために交付金を交付しました。					
対象:23集落協定 対象農用地面積:4, 177, 812㎡					
交付金 44,901 千円					
推進事務費 2,237 千円					
「成果」 農業生産に不利地である中山間地域の農地を保全しました。					
「課題」 H27年度からの4期対策は高齢化や役員のなり手不足により協定数が4減少しました。					
事務の広域化等により役員の負担を軽減するための体制を整える必要があります。					
○一般事務 582千円					
・各種協議会等の負担金 265千円					
県農業農村整備事業推進協議会会費 24千円					
県土地改良事業団体連合会負担金(一般賦課金)25千円、(特別賦課金)43千円					
農道台帳管理賦課金 159千円、中部土地改良推進協議会負担金 16千円					
・光熱水費(倉坂赤松トンネル照明費用) 267千円					
・琴浦町全域地形図作成業務 13,600千円(⇒H28明許)					
・CADソフト保守点検料 27千円					
「成果」 土地改良事業の推進にかかる負担等を行い、農業振興に寄与しました。					
「課題」 持続可能な農業の確立をはかるため、引き続き国等の土地改良事業を要望していく必要があります。					
○農業用施設等補修事業 558千円					
鳥取県防災計画の緊急輸送道路となっている町道鋤上野線の安全な通行を確保するため、当該町道を横断している岩船橋の点検を行いました。					
・琴浦町岩船橋点検業務 558千円					
「成果」 鳥取県防災計画の緊急輸送道路の安全な通行を確保できました。					
「課題」 引き続き定期的な点検を実施し、安全な通行の確保に努める必要があります。					
○しっかり守る農林基盤整備事業 31,869千円					
水路、農道などの町内農業農村生産基盤等の整備を行い、本町の農業振興及び強い農村づくりに寄与しました。					
委託料 4,644千円					
農業用施設補修借上料(24地区) 1,204千円					
農業用施設補修原材料費(22地区) 1,360千円					
工事請負費(14地区) 23,342千円					
補償費 1,319千円					
・物件移転 2件					
・損失補償 1件					
<工事実施箇所>					
矢下地区水路、下大江地区水路、光好地区水路、杉地地区水路、槻下地区水路					
岩本地区農道、三保地区水路、三保地区農道、金屋地区農道、野田地区林道、					
別宮地区林道、中村地区林道、金屋地区畑かん施設、船上山ダム機器修繕					
「成果」 農村集落で農業用のみならず重要な役割を果たす農業用施設について、関係者のみでの対応が困難な施設の改修及び補修を行い、安心・安全な農村環境の整備に寄与しました。					
「課題」 引き続き、上位補助事業での実施を検討する必要があります。					



○県営ほ場整備幹線道路等事業費及び利子補給事業債務負担事業 59,424千円
 農業基盤整備の充実を図るため県営土地改良事業にかかる地元負担を軽減し、基盤整備の促進を図りました。

- ・赤碕地区畑地帯総合土地改良事業分 23,593千円
- ・東伯地区畑地帯総合土地改良事業分 35,831千円

「成果」 受益者の負担軽減が図ることにより、農業基盤整備の充実に寄与しました。

「課題」 低利率のものへの借換えなど、経費の節減に向けた検討が必要です。

○土地改良事業の推進 72,178千円

農業基盤整備の充実を図るため、赤碕町・東伯町土地改良区への助成及び国営造成施設の効果的運営のため東伯地区土地改良区連合への操作委託を行いました。

- ・操作委託(東伯地区土地改良区連合) 51,176千円
- ・基幹水利施設管理関係 2,564千円
- ・各土地改良区補助等(運営補助、水田分維持管理賦課金補助) 18,438千円

「成果」 農業者により組織する各土地改良区において農業基盤の維持管理及び県営土地改良事業の推進を行ったほか、国営造成施設を適切に維持・管理し、農業生産基盤の核である水資源を有効に活用しました。

「課題」 将来的に持続可能な運営体制の確立が求められます。

○国営かんがい排水事業 9,576千円

農業基盤整備を図るため、東伯地区国営かんがい排水事業の円滑な事業推進を図りました。

- ・推進事務関係 364千円
- ・管理体制整備補助金(東伯地区土地改良区連合) 9,212千円

「成果」 水利施設の多面的機能(防災・環境整備)の充実が図られました。

「課題」 農業水利施設が持つ多面的機能を十分に発揮させるため、地域が適切・有効に活用できるような非農家を含めた管理体制づくりを促進していく必要があります。



○多面的機能支払交付金事業 75,196千円

多面的機能を有す農地・農業用施設などの資源の良好な保全と質的向上を図る地域ぐるみの共同活動への支援を行いました。

また、老朽化が進む農地周りの農業用施設の長寿命化を図る向上活動へ支援を行いました。

交付金 73,048千円
 推進事務 2,148千円

平成27年度
 農地維持

協定地区数: 38地区
 対象農用地面積: 田 74,836a 畑 13,658a

資源向上(共同活動)

協定地区数: 27地区
 対象農用地面積: 田 52,042a 畑 13,091a

資源向上(施設の長寿命化)

協定地区数: 40地区
 対象農用地面積: 田 79,730a 畑 13,571a



「成果」 事業実施組織が非農家を取り込み、地域ぐるみでの農業用施設の維持管理及び長寿命化に繋がる活動の支援を行いました。
平成27年度には、9地区の新規地区の取組みを推進しました。
地域による自主的な農業用施設の維持管理及び補修・改修が行われました。
「課題」 高齢化等に伴い、集落の当該事業の取組みの継続が危惧されます。集落の負担を軽減するため、広域活動組織の設立を目指す必要があります。

○農業体質強化基盤整備促進事業 10,547千円

農業従事者の減少や高齢化が進むなか、農業用施設の維持管理の省力化を図り、意欲ある農業者が継続できる環境(基盤)を整備しました。

・工事請負費(3件 鈿、森藤、八反田・宮場) 10,547千円

「成果」 法面コンクリート、底張りコンクリートにより、農業用排水路の維持管理にかかる労力低減に寄与しました。

「課題」 国の補助金予算の動向で事業費の変動があり、計画どおりの実施が困難となっています。

○ため池防災減災対策推進事業 9,117千円

農村地域の防災力向上を図るため、ため池の防災・減災対策を行い、ため池の有する社会生活基盤としての機能維持及び住民の安心と安全の確保を図りました。

今年度、浚渫工事の準備としてオノ木ため池の水を抜いたところ、堆積土が大量に流出したため、その対応を行いました。(ため池の浚渫工事は中止)

・オノ木ため池水質調査・土壌分析 179千円
・化粧川河口濁水防止措置業務(災害応急) 657千円
・化粧川堆積土砂撤去工事(災害応急) 8,243千円

「成果」 化粧川河口部のフィルター設置及び堆積土の浚渫等により、西港等の環境回復を図りました。

「課題」 ため池の池干し等のルール化を図り、再発防止を図る必要があります。

款	5 農林水産業費	項 目	2 林業費 1 林業総務費	最終予算額	決算額
				14,724千円	14,526千円
担当課決算額				14,724千円	14,526千円

○人件費 14,161千円

一般職 1名

○一般事務 366千円

・消耗品費 23千円
・各種負担金等
 国有林土地使用料 6千円
 県緑化推進委員会負担金 35千円
 全国森林環境・水源税創設促進連盟負担金 20千円
 治山林道協会負担金 10千円
 森林設計積算システム賃借料 262千円
 天神川流域林業活性化センター負担金 10千円

「成果」 負担金や使用料を支払うことで団体の活動や継続使用について寄与しました。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	2 林業振興費	36,006千円	35,083千円
担当課決算額				36,006千円	35,083千円
<p>○森林病虫害等防除事業 27,424千円</p> <p>松くい虫の被害から松林を守るための予防措置、駆除措置を実施した。また、ナラ枯れによる被害木の駆除を行いました。</p> <p>特別防除:6月に177ha×2回空中散布を実施。 9,299千円</p> <p>伐倒駆除:被害木 19.0m³の伐倒、薬剤処理。 555千円</p> <p>ナラ枯れ駆除:被害木1,990本の薬剤駆除、シート被覆による被害 17,281千円</p> <p>予防及びカシナガ封じ込めを行った。</p> <p>ナラ枯れ被害木調査:被害木調査を委託し状況把握を行った。 289千円</p> <p>「成果」 松くい虫による被害を最小限にとどめることができたほか、伐倒により次年度の被害量を減らすよう努めました。</p> <p>「課題」 松くい虫防除については、区域の見直し、駆除の必要性の確認により事業減も検討する必要があります。</p> <p>ナラ枯れ駆除においては、被害拡大が懸念されていることから可能な限り駆除を行いつつ、駆除の有効性を見極める必要があります。</p>					
					
<p>○森林整備促進事業 1,371千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林整備地域活動支援交付金交付事業 199千円 森林境界の確認、施業集約化の促進。(森林調査。)(国1/2、県1/4、町1/4) ・竹林整備事業補助金 969千円 竹の抜き切りについて補助を行いました。(県8/10補助) ・県緑の産業活力創生プロジェクト基金事業補助金 203千円 森林境界明確化について補助を行いました。(国10/10補助) <p>「成果」 森林整備、放置竹林の整備に対し支援を行うことができました。</p> <p>「課題」 事業実施者の補助事業における実施見込み精査が不十分だったことによる予算執行残が生じた。進捗も含めた事業管理を徹底する必要があります。</p>					
					
<p>○林業振興対策事業 4,390千円</p> <p>適正な森林管理推進のため、担い手対策、間伐促進対策等を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・林業労働者福祉向上対策事業負担金 183千円 (公財)鳥取県林業担い手育成財団への負担金 ・緊急間伐実施事業費補助金 3,000千円 県の間伐材搬出促進補助事業に町が1,000円/m³のかさ上げを行いました。 ・架線系作業システム導入支援事業補助金 1,207千円 鳥取県中部森林組合が導入した架線系作業システム(タワーヤード1基外)に対し補助金を交付しました。 <p>「成果」 担い手の育成、間伐に係る搬出経費の支援をすることができました。</p> <p>「課題」 導入した架線系作業システムの活用を積極的に働きかけるとともに、森林経営計画における間伐実施進捗達成に向け鳥取県中部森林組合への進捗管理の徹底と指導をしていくことが必要です。</p>					

○ふれあい交流会館管理運営 1,730千円
赤碕ふれあい交流会館の管理運営を行いました。
「成果」 町有施設の管理を行い、町民に快適に利用してもらえる環境を保ちました。

○とっとり共生の森森林整備事業 168千円
損害保険ジャパン日本興亜(株)、県、町で協定を締結し、船上山周辺の森林保全活動を実施しました。
「成果」 植栽を行い、企業の森林整備に対する関心を強めることができました。

款	5 農林水産業費	項	3 水産業費	最終予算額	決算額
		目	1 水産業総務費	25,594千円	25,149千円
担当課決算額				25,594千円	25,149千円

○水産業振興対策事業 24,647千円
水産業の振興を図るため、県事業の負担金抛出、赤碕町漁業協同組合の運営事業の支援、同組合員の償還負担の軽減、共済掛金の負担軽減を支援しました。

- ・県水産業振興対策協議会負担金 47千円
 - ・漁業近代化資金利子補給 7件分 利子補給1.0% 133千円
 - ・栽培漁業ビジネスプラン推進事業費補助金
サザエ稚貝60千個 アワビ稚貝15千個 995千円
 - ・漁獲共済掛金軽減事業補助金 21件分 漁家負担分の10% 174千円
 - ・漁業振興対策補助金 原油高騰対策事業の漁協負担分の助成 224千円
 - ・漁業緊急保証対策事業補助金 融資信用保証料の一部助成 47千円
 - ・漁業経営開始円滑化事業費補助金 16,667千円
 - ・とっとり発！6次産業化総合支援事業補助金 5,551千円
 - ・漁業担い手育成研修事業 809千円
- 「成果」 漁業者の経営安定に一定の効果が見られました。
「課題」 資源の枯渇に対して漁期の設定や育成技術の確立が必要です。

○漁村センター管理事業 503千円

- 「成果」 年間を通じて、漁協の女性部や青年部、磯組合の利用、選挙の際の利用等がありました。
- 「課題」 近隣に赤碕地区公民館があるため、地域住民の活用が少ない。

【農林水産課】

款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	1 現年発生農地災害復旧費	0千円	0千円
担当課決算額				0千円	0千円
<p>○現年発生農地災害復旧事業 0千円</p> <p>「成果」 H27年度については、農地災害の発生がありませんでした。</p> <p>「課題」 引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費	610千円	610千円
担当課決算額				610千円	610千円
<p>○現年発生農業用施設災害復旧事業 0千円</p> <p>「成果」 H27年度については、施設災害の発生がありませんでした。</p> <p>「課題」 引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p> <p>○現年発生農業用施設小災害復旧事業 610千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・琴浦町農業用水緊急確保支援補助金 610千円 <p>平成27年9月、10月の豪雨により取水が困難となった防火用水を兼ねる農業用水の河川取水口の用水確保作業を支援した。(申請件数:2件)</p> <p>併せて、災害採択要件に満たない降雨により取水が困難となった取水口の用水確保作業についても、年1回に限り支援を行った。(実施井手数:10件)</p> <p>「成果」 農業用水の確保を支援し、災害に強いまちづくりに寄与しました。</p> <p>「課題」 平成23年に被災した加勢蛇川上流の山腹崩壊について、対策事業の早期完成を関係機関へ引き続き要望する必要があります。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	3 現年発生林道災害復旧費	4千円	4千円
担当課決算額				4千円	4千円
<p>○現年発生林道災害復旧事業 4千円</p> <p>平成27年度において、危険箇所の応急対策として実施した直営作業に要する資材を購入しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資材購入(土のう等) 4千円 <p>「成果」 H27年度については、林道災害(1件)について、直営施工で応急対策を行いました。</p> <p>「課題」 引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p>					
款	12 諸支出金返納金	項	1 諸費	最終予算額	決算額
		目	1 国県支出金返納金	37,480千円	28,517千円
担当課決算額				100千円	68千円
<p>○国県支出金返納金 68千円</p> <p>多面的機能支払交付金事業において、面積変更に伴い減額となった補助金を返還しました。</p>					

款	2 総務費	項	15 地域住民生活等緊急支援のための交付金事業費	最終予算額	決 算 額
		目	2 地方創生先行型事業費(繰越明許)	109,899千円	94,531千円
担当課決算額				4,648千円	4,586千円

○芝産地の活性化を目的とした生産機械開発事業 3,938千円

「成果」 プロトタイプ(試作機)として、部分的ではあるが、連続した動きができる機械が完成し、可視化できたことは、一定の成果であった。

「課題」 芝生産者が求めるスペック(実用的な能力水準)のある機械を完成させるには、多くの課題があり、引き続き関係機関等と連携して開発・製作を検討する必要がある。

○和牛ブランド推進事業 648千円

鳥取県の基幹種雄牛で、全国的にトップレベルの成績を収めた百合白清2および白鵬85の3のふるさととして、町内学校給食で、白鵬85の3の子の牛肉を使用した肉じゃがの提供や食育授業、町イベント等を行いました。

「成果」 各種事業により、日本一の和牛のふるさと琴浦町をPRしました。

「課題」 さらなるブランド化推進のための継続した取り組みが必要です。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	最終予算額	決 算 額
		目	5 農地費(繰越明許)	18,480千円	17,625千円
担当課決算額				18,480千円	17,625千円

○しっかり守る農林基盤整備事業 9,127千円

水路、農道などの町内農業農村生産基盤等の整備を行い、本町の農業振興及び強い農村づくりに寄与しました。

(H26年度からの繰越分)

「成果」 受益者の負担軽減が図ることにより、農業基盤整備の充実に寄与しました。

「課題」 引き続き、上位補助事業での実施を検討する必要があります。

○農業体質強化基盤整備促進事業 8,499千円

農業水利施設の用排水機能等の確保及び災害に強い農村づくりのため農業用水路の改修を行いました。

・水路改修設計業務等(2件) 844千円

・水路改修工事等(2件) 7,655千円

「成果」 樋門整備等を行い、用排機能の確保及び災害に強い農村づくりに寄与しました。

「課題」 引き続き、町内の農業用排水路の改修を行い災害に強い農村づくりを進める必要であるが、受益者負担が生じるため事業化が難しい。

(着工前)



(完成)



款	5 農林水産業費	項	2 林業費	最終予算額	決算額
		目	2 林業振興費(繰越明許)	2,426千円	2,063千円
担当課決算額				2,426千円	2,063千円
<p>○森林病虫害等防除事業 2,063千円 平成26年度におけるナラ枯れ被害木駆除残について駆除を実施しました。 「成果」被害木よりカシノナガキイムシが脱出する6月上旬までに駆除を行い被害拡大を防ぎました。</p>					
款	10 災害復旧費	項	1 農林水産業災害復旧費	最終予算額	決算額
		目	2 現年発生農業用施設災害復旧費(繰越明許)	750千円	750千円
担当課決算額				750千円	750千円
<p>○現年発生農業用施設小災害復旧事業 750千円 ・山川地区農道法面修繕工事 549千円 ・6号ファームポンドの通信ケーブル復旧工事の経費(機械借上料、材料費)の一部を助成しました。 201千円 「成果」施設の機能維持を図り、適切な管理に寄与しました。 「課題」引き続き他事業と連携して、災害の発生防止を図るとともに、発生時の速やかな対応が可能な体制づくりが必要です。</p>					
款	1 電気事業費用	項	1 営業費用	最終予算額	決算額
		目	1 水力発電費	17,617千円	17,587千円
担当課決算額				17,617千円	17,587千円
<p>○船上山小水力発電所管理事業 17,587千円 発電所の管理運営を行い、土地改良施設等の維持管理 自然環境の保全に寄与すると共に自然エネルギーの普及啓発を図る。 ・施設管理事業操作委託業務(東伯地区土地改良区連合) 1,523千円 ・自家用電気工作物保安管理業務(中国電気保安協会) 518千円 ・流水占用料 148千円 ・積立金(湧水準備、減債、建設改良、修繕) 15,010千円 ・H28繰越金 141千円</p> <p>【収入】 ・売電収入(408,515kWh) 15,001千円 ・水車修理期間売電損益弁償 2,610千円 ・H26繰越金 6千円</p> <p>「成果」平成26年12月2日から売電を開始し、年間を通じた運営体制を概ね確立した。 ダム見学と併せた施設見学を行い、発電所への見学者(153人)の理解を深めた。 計画発電額に対して流量の不足、落雷等による緊急停止の影響により約66% (売電収入、弁償金)の実績となった。</p> <p>水車修理に係る停止 11月6日～12月17日</p> <p>「課題」日々の水量調整や発電所施設の点検作業及び緊急停止の確認等は 現地対応となるため、マンパワーが必要である。</p>					
					
					